

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	ごーでんえっく新川		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの自主性や自発性を尊重しながら、楽しく・明るく・元気な時間を過ごすことにより、子どもの成長を促すことができます。年齢や成長に合わせてプログラムを用意するように心掛けています。	動くこと、考えること、感じることの調和を大切にした療育内容で取り組み、愛着の状態を意識した支援をしています。それぞれの課題を分析しながら、からだの動きを感じてできる内容を行います。その子の成長にあった内容にするようにしています。	運動遊びを通して、たくさんの経験を重ねられるよう一人一人の人間性の成長に目を向けます。子どもが安全、安心で自分らしく過ごせる居場所となります。今後も運動遊びを主としたプログラムを提供します。環境や人との関わりを通して「生きる力」人間力を育てていきます。
2	家族の意向を受け止めながら、子どもと家族の関係に配慮し兄弟を含めた家族をトータルに支援しています。相談しやすい、お話ししやすい関係作りを意識しています。	日頃の様子を写真や動画で記録し、家族と共有しています。その日の出来事や活動内容についてSNSツールを活用し、家族のコミュニケーションの話題になるようにしています。	安心して利用していただくことができるような環境と信頼関係を作り継続して行います。個人情報に配慮しながらSNSツールを活用し、コミュニケーションを深めています。職員一人一人のコミュニケーション力を高め、話しやすい関係を構築していきます。
3	風通しの良い事業所作りを意識し、一人一人の職員をお互いに尊重し合い、信頼関係を築くようにしています。	子どもと関わるだけでなく、大人同士の関わりも大切にしています。自分も相手も尊重し合える働きやすい環境作りをしています。	職員一人一人の経験年数、育った環境などそれぞれ違いますが、それぞれの個性を活かし、尊重し合いながら働いています。大人の良い振る舞いや関係が子どもたちに良い影響を与えようと考えます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への非常時等への対応（緊急時・感染症等）に対する周知、発信が不足しています。	防災への取り組みや緊急時の対応は作成していますが、契約時の説明に留まっています。周知の機会が不足しています。	防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、内容の確認を行い、年度始めに周知するようにします。保護者への訓練の実施についての周知は、直接の他にInstagramなどで発信していきます。職員一人一人のBCPIについての理解力も不足している為、研修の機会を検討します。
2	利用児と地域との交流会や保護者同士の交流会の企画、提供が不足しています。	療育内容や支援に重点を置いている為、地域支援・地域連携に対する情報収集や取り組みが不足しています。	長期休み時などに、地域の活動や活動場所等の情報収集を行います。近くの公園などから少しずつ交流の機会を増やしていくようにします。保護者同士の交流については、希望をしているご家庭があるのかなど状況、ニーズの把握から始めます。
3			